

堺「匠の文化」

まちかど ミュージアム

堺



堺まちかどミュージアム

堺の「匠の文化」を訪ねる



関西国際空港の開港とともに発展を続ける街・堺。世界のヒト、モノ、情報がリアルタイムで行き交う街・堺。堺は中世の「黄金の日々」に代表されるように、進取の気風溢れる街として常にわが国の世界に対する窓口として機能し、高い文化性を発揮してまいりました。

堺には、こうした歴史や風土の中で育まれてきた多くの伝統工芸が、今日なお脈々と息づいています。これらは、昔ながらの手づくりで生産され、私たちの生活に安らぎと潤いをもたらしてくれています。

このように、今日まで継承された「匠の技」は、堺が誇る大きな文化であるとの観点から、この度、まちかどに存在する堺らしい事業所にシンボルマークを表示し、皆様に気軽に堺の「匠の技」に触れていただける「まちかどミュージアム」としてしつらえました。

堺刃物、昆布、線香、和ざらし・ゆかた、五月鯉幟の五分野に、新たに自転車と手織緞通を加えて紹介いたします。

堺が育み、そして連綿として継承された「匠の文化」と伝統工芸品の数々。これらを訪ねて、見て、触れて、そして体験して堺の魅力を再発見してみませんか。

堺刃物



堺刃物の歴史は遥か古代に遡り、江戸時代のタバコ包丁によって名声を得た。

5世紀には古墳群を造るための道具を製造する人々が集団をつくり、鍛冶技術発展の基礎ができました。さらに、16世紀にポルトガルから伝来した煙草の葉を刻む包丁が大量に必要となって製造され、江戸時代には「堺極(さかいきわめ)」の印を受け幕府専売品として全国に販売されました。その後、17世紀末に出刃包丁が堺で作られ始め、これが堺の包丁の始まりといわれています。

堺の刃物は、伝統的な火造り、刃付け、研ぎの手法を完全な分業作業によって作られており、その素晴らしい切れ味からも多くのプロの料理人のあいだで絶大な信頼と支持を得、全国にその名を響かせています。

有限会社芦刃物製作所 <http://www.ashihamono.com>

堺市堺区並松町14番地 TEL.072-229-4920 FAX.072-228-1689

堺の伝統の技と、新技術・斬新なデザイン等を融合した刃物を開発するために一貫した生産を行い、それらの刃物を使った新しい生活提案のできる情報発信地を目指しています。



- 展示/製造工程の資料・パンフレット、商品・作品等
- 実演/製造工程の見学 [10名程度、30分~1時間]
- 料金/見学無料
- 販売/可
- 休業日/日曜・祝日
- 予約/必要(見学のみ)
- 交通/南海線 七道駅徒歩約10分、阪堺線 高須神社電停徒歩約10分

味岡刃物製作所

2

堺市堺区北向陽町1丁3番23号 TEL.072-233-0897 FAX.072-233-0968

鋼の硬度を高めるため約800度に加熱した後、冷却効果を高めた機能で急冷する焼入れや粘りを持たせるため約180度の油浴で加熱した後に自然に冷やす焼戻し等の作業を見学して頂けます。



- 展示/ナシ
- 実演 体験/焼き入れ、焼戻し、刃付け、柄付け [15名以下、約1時間]
- 料金/見学・体験とも無料
- 販売/ナシ
- 休業日/事前予約があれば、土曜・日曜・祝日も可
- 予約/必要
- 交通/高野線 堺東駅徒歩約10分

伊野忠刃物工房

3

堺市堺区北庄町1丁3番10号 TEL.072-232-0773 FAX.072-232-0284

伝統工芸士・伊野勇藏、信平が実演、指導。伝統的な技法で堺包丁を研ぎ上げています。しかし、同じ工法でありながら、生み出される包丁は時代や使い手の意思を反映しています。



- 展示/堺刃物
- 実演/包丁研磨
- 体験/研ぎの本刃付 [5~6名程度]
- 料金/見学無料 製作=材料費実費
- 販売/可
- 休業日/日曜・祝日
- 予約/必要
- 交通/高野線 堺東駅徒歩約10分

隆榎並刃物製作所

4

堺市堺区九間町西2丁2番25号 TEL.072-233-0217 FAX.072-233-0232

鍛冶屋の仕事で一番迫力がある「火造り」を間近に見ていただけます。前もって予約頂ければ時間を合わせて火造りを実施します。また、平成15年2月25日には「伝統工芸士」の認定を受けました。



- 展示/ナシ
- 実演/和包丁製造(鍛造) [15~20名]
- 体験/休業日のみ [5~6名程度] (予約必要)
- 料金/見学無料 体験:6,000円でマイ包丁
- 販売/自社ブランド「静爽」の販売可
- 休業日/日曜・祝日
- 予約/必要
- 交通/阪堺線 神明町電停徒歩約4分

笠原刃物株式会社

5

堺市堺区北庄町1丁9番21号 TEL.072-232-5553 FAX.072-229-0703

伝統工芸士が体験指導。一般的な体験は仕上げ研ぎだけですが、地金を持ち込まれる方は相談の上一貫製作されることも可能です。



- 展示/堺刃物
- 実演/刃付け
- 体験/包丁の研ぎ方 [20名、約1時間]
- 料金/見学無料 刃付け指導=2,000円
- 販売/可
- 休業日/日曜・祝日 (体験・見学は予約で可能)
- 予約/必要
- 交通/高野線 堺東駅徒歩約10分

富樫打刃物製作所

6

堺市中区深井畑山町268番5 TEL.072-278-2454 FAX.072-278-3588

親子三人で作業に従事。主に片刃鍛接、さしみ包丁、出刃包丁、薄刃包丁、文化包丁、鰻包丁、そば切包丁、本焼包丁等を製造しています。



- 展示/堺打刃物等
- 実演/鋼切から鍛接、炭焼入、オープン焼戻し、歪取りまで
- 体験/切バシでの断回し程度 [2~3名程度]
- 料金/見学・体験とも無料
- 販売/可
- 休業日/日曜・祝日 (お盆・年末年始)
- 予約/必要
- 交通/泉北高速鉄道 深井駅徒歩約10分

藤井刃物製作所 7

堺市堺区北旅籠町西1丁2番21号 TEL.072-232-4097 FAX.072-232-4107

家庭用の文化包丁等を焼入れから柄付作業まで一貫して生産しています。製作工程から体験、名前入れ、販売を行います。



- 展示/自社で作っている包丁等
- 実演/生だたき、焼入れ、刃付け、柄付け、銘切り作業等
- 体験/文化包丁の刃付・柄付体験 [2~5名程度、1~3時間]
- 料金/見学無料 体験=材料費実費 (4,000~6,300円程度)
- 販売/ベティナイフ、文化包丁、出刃包丁、包丁セット (1,800~20,000円程度)
- 休業日/日曜 (体験、見学は予約で可能)
- 予約/必要 (体験は土曜・日曜のみ、1週間以上前に要予約 見学は2~3日前から受け付けます。)
- 交通/南海線 七道駅徒歩約5分、阪堺線 高須神社電停徒歩約4分

株式会社水野鍛錬所 8

堺市堺区桜之町西1丁1番27号 TEL.072-229-3253 FAX.072-228-1354

昔ながらの鞆(ふいご)のある工場を平日、仕事のオフの時に見学できます。店内では家庭用の包丁や最高級の打刃物を購入していただけます。



- 展示/玉鋼や法隆寺五重塔魔除鎌
- 実演/刀の鍛錬 (予約でタイミングが合えば)
- 体験/ナシ
- 料金/見学無料
- 販売/可
- 休業日/土曜・日曜・祝日
- 予約/必要
- 交通/阪堺線 綾ノ町電停徒歩約5分、南海線 七道駅徒歩約8分

森本刃物製作所 9

堺市堺区南庄町1丁2番22号 TEL.072-238-5823 FAX.072-238-5825

伝統工芸士が研ぎの実演、基本的な体験指導します。カスタムものに関する質問に関しても、鍛冶屋さんと同様のうえ隨時お答えいたします。



- 展示/堺打刃物
- 実演/打刃物の研ぎ工程
- 体験/研ぎ [5~6名程度、約30分]
- 料金/見学無料 体験=材料費実費
- 販売/可
- 休業日/日曜
- 予約/必要 (土曜・日曜に限る)
- 交通/高野線 堺東駅徒歩約10分

山本刃剣(山本「英」打刃物製作所) 10

堺市堺区砂道町1丁3番36号 TEL.072-238-3023 FAX.072-238-3344

堺打刃物の研ぎ工程及び刃剣の研ぎ(下押し)が中心。親子とも、伝統工芸士。見学は5名まで。



- 展示/堺打刃物
- 実演/刃付工程 柄付工程
- 体験/刃物研ぎ講習等
- 料金/見学・講習とも実費
- 販売/可 (本職用包丁 家庭用包丁 砥石各種)
- 休業日/土曜・日曜・月曜 (見学は休業日の方が良い)
- 予約/必要
- 交通/阪堺線 高須神社電停徒歩約3分、高野線 浅香山駅徒歩約8分 南海線 七道駅徒歩約7分

堺刀司資料館(株式会社 和泉利器製作所) 11

堺市堺区桜之町西2丁1番11号 TEL.072-238-0888 FAX.072-229-9221

包丁の全工程はもちろん、人類が初めて使った刃物・石包丁をはじめ世界の刃物や包丁、また、火縄銃や昔の書類(棚卸帳)・仕事場等を展示しています。



- 展示/上記参照 [展示説明/約20名程度、約1時間]
- 実演/ナシ
- 体験/ナシ
- 料金/入場無料
- 販売/可
- 休業日/土曜・日曜
- 予約/必要
- 交通/南海線 七道駅徒歩約5分、阪堺線 綾ノ町電停徒歩約5分

堺昆布



**北の幸・昆布は、海路、堺に渡り、
熟練の職人の手によって加工された。**

堺に昆布加工業が発達したのは、北海道でとれた昆布の運搬ルートと関わりが深いといわれています。北海道で採れた昆布は、敦賀・若狭の西回り沿岸航路を通して京都に運ばれていました。江戸時代中頃には下関を経て大阪、堺へ通じる航路(コンブ・ロード)が開かれ、堺にも大量の昆布が陸揚げされるようになり、堺の昆布加工業も本格的に発達したといわれています。特に、最盛時の大正から昭和のはじめにかけては、150軒あまりの業者が集まって一大産地となりました。

堺の昆布は熟練した職人によって加工された「おぼろ」と「とろろ」が主力で、その他塩昆布やおやつ昆布など多様な商品が生産されています。

郷田商店

堺市堺区市之町東5丁1番23号 TEL.072-232-4789 FAX.072-222-6699

12

高い品質を保つために熟練した職人によって手作りで加工しています。手すきおぼろ昆布の実演と販売をしています。



- 展示/各種昆布加工品
- 実演/手すきおぼろ昆布[4~5名まで、約15分]
- 体験/ナシ
- 料金/見学無料
- 販売/可
- 休業日/日曜・祝日(月2回土曜休み)
- 予約/必要
- 交通/高野線 堺東駅徒歩約10分

小倉屋株式会社 堺営業所

堺市堺区南清水町1丁2番10号 TEL.072-233-8433 FAX.072-233-8430

13

原藻昆布からおぼろ昆布・とろろ昆布の全工程において、古くから伝わる手法で職人達が一枚一枚丹精を込めて削る様子を間近に見学していただけます。また、削りたての昆布の試食も行っています。



- 展示/各種昆布製品
- 実演/手すきおぼろ昆布・とろろ昆布[5~6名程度、約30分]
- 体験/ナシ
- 料金/見学無料
- 販売/可
- 休業日/土曜・日曜・祝日
- 予約/必要
- 交通/高野線 浅香山駅徒歩約10分

堺刃物伝統産業会館

~堺HAMONOミュージアム~

お立ち寄り下さい

- 堺市堺区材木町西1-1-30
- 電話072-227-1001
- FAX072-238-8906
- ホームページアドレス <http://www.sakaihamono.or.jp/>
- 入館 無料
- 多くのプロの料理人に支持され続けている堺の伝統産業である刃物。その刃物を広く伝えるための拠点「堺刃物伝統産業会館」は、「堺市の地場産業の更なる活性化を！」と注目を集めています。



イベント情報

2005年の実績に基づくスケジュールです。次以降の日程についてはお問い合わせください。

開催日	名称	場所	問合せ	電話	ホームページ
2月 第2土日	刃物まつり	じばしん	堺刃物商工業(協)連合会	072-227-1001	http://www.sakaihamono.or.jp/
2月	伝統的工芸品展 WAZA2005	東京	(財)伝統的工芸品産業振興協会	03-5954-6033	http://www.kougai.or.jp/index.html
7月末~ 8月初	浪花の技展	阪神百貨店	大阪伝統工芸品産業振興協議会(大阪伝産協)	06-6947-2773	http://www.prof.osaka.jp/osaka-pref/kogyo/dento/top.html
11月	きんぎ伝統的工芸品フェア	インテックス大阪(毎年変更)	(財)伝統的工芸品産業振興協会	03-5954-6033	http://www.kougai.or.jp/index.html
11月頃	伝統工芸ふれあい広場	石川県(毎年変更)	(財)伝統的工芸品産業振興協会	03-5954-6033	http://www.kougai.or.jp/index.html

堺線香



日本で最初に製造された堺線香、
400年たった今も
その秘伝の調合を守り続ける。

16世紀の終わり頃に線香の製法が中国から伝わり、わが国初めての線香が堺で作られ、江戸時代にはすでに産地として名をなしていました。

線香の生命である香料の調合は、室町時代に発達した香道、茶道の影響を受け、大いに進展しました。クスノキの一種であるタブノキの粉(タブ粉)に香料を加え熱湯で練り合わせ、盆切り、成形、乾燥などの伝統技法で生産されています。堺の線香は、選び抜かれた天然の香料の調合が特色で、香りの芸術品とも言われていますが、研究、改善が続けられ、香りのブームの中で、現代生活にマッチした新たな香りが生まれています。

奥野晴明堂 香り工房

<http://www.osenkou.com>

15

堺市堺区市之町東6丁11番2号 TEL.072-232-0405 FAX.072-233-7645

いろいろな折に触れ人を優しく爽やかに包む日本伝統の香から東洋の香、また線香・アロマテラピー香・ハーブ精油・香炉にいたるまで展示販売しています。



- 展示/香・線香、東洋の香・線香、西洋のハーブ、香炉
- 実演/ナン
- 体験/香りのカルチャー教室(お香の作り方・ハーブの調香など)
- 料金/見学無料、カルチャー教室は実費
- 休業日/日曜
- 予約/必要(1週間前)
- 交通/高野線 堺東駅徒歩約7分

株式会社梅栄堂ショールーム

14

堺市堺区車之町東1丁1番4号 TEL.072-229-4545 FAX.072-227-1672

稀少な香木、伽羅・沈香・白檀等の天然香料を約20種類展示。また、製造工程のパネルやお香について詳しく説明しているビデオもご用意しています。



- 展示/香・線香・香炉等
- 実演/線香製造工程(工場見学)[20名程度、約2時間]
- 体験/香道教室(2階好文庵)
- 料金/工場見学無料 香道教室2,000円
- 販売/薫物 線香(仏事用・室内用・慶事用)
- 休業日/土曜・日曜・祝日(年末年始・夏期)
- 予約/必要
- 交通/阪堺線 花田口電停東側すぐ

堺和ざらし



多彩な色の染料が注ぎ込まれ、鮮やかなカラーに大胆な図柄が踊る。

堺市では、江戸時代のはじめに、水量豊かな石津川付近で綿織物の漂白(和ざらし)の産業が盛んになりました。これは「和ざらし」に必要な水と自然の日光に干すための広い土地という自然条件に恵まれていること、木綿の一大産地である泉州・河内地域を控えていることによるものでした。第2次世界大戦後には、大阪市内のゆかたの染色業界が石津川沿岸に移住し、堺の「和ざらし」と染染が結びついて、産業として発展しました。

布地の上に伊勢型紙を置き、糊置きを行い、その上から染料を注ぎかけて染める注染法は、表と裏を同時に染めるのが特色で、美しく涼し気に夏を彩る新しいファッションとして、若い人の間でも人気を集めています。

本郷染工株式会社

堺市中区毛穴町312 TEL.072-271-0456 FAX.072-271-3523

16

大阪府伝統工芸品に指定されている注染ゆかた。伝統的な手法による手染加工でぼかし染を行っています。



- 展示/注染ゆかた
- 実演/注染による染色工程
[5名以上の場合のみ、約1~1時間30分]
- 体験/ナシ
- 料金/見学無料
- 販売/可
- 休業日/土曜・日曜・祝日
- 予約/必要(見学は、1週間以上前に要予約)
- 交通/JR津久野駅より南海バス 毛穴なかよし橋徒歩約2分

堺五月鯉幟



悠々と、堂々と空を泳ぐ堺五月鯉幟。利発で可愛い金太郎がまたがる鯉は、とても力強い。

五月五日を端午の節句とし、家の前に幟を立てて男の子の立身出世を願う風習は、江戸時代中期頃までさかのぼります。明治初期に名古屋の紙鯉をヒントに、大阪で初めて手描きによる紙鯉を製造・販売したのが堺鯉幟のルーツです。当時の堺には、和風を作る職人が多く、その技術を活用して紙鯉を作り始め、明治時代中期には現在の素材、技法が確立されました。

金太郎がまたがったデザインが特徴の堺五月鯉幟は、綿布に一筆一筆手描きされており、ぼかしや色の濃淡、毛先の繊細さ、勢いのよさが特徴です。

堺五月鯉幟工房

<http://www.f6.dion.ne.jp/~may5day/> 堺市西区浜寺船尾町東3丁413 TEL.072-263-2205 FAX.072-263-2205

17

大阪で唯一手描きの伝統を受け継ぐ堺五月鯉幟。竹刷毛や数十種類の筆を使い分ける伝統の技法で丹念に染め上げています。室内でも楽しめる作品の展示販売もしています。



- 展示/鯉幟、鯉幟人形、各種額入等
- 実演/ナシ
- 体験/鯉幟絵を竹刷毛・筆を使い綿布に描く[5~6名、約2時間]
- 料金/見学無料 体験=3,000円
- 販売/可(鯉幟 鯉幟人形 各種額入等)
- 休業日/特になし
- 予約/1ヶ月前に必要(2~4月はお遠慮下さい)
- 交通/高野線 堺東駅より南海バス 船尾町東徒歩約5分

堺手織緞通



美しい色と柄、
そこには歴史と伝統が
秘められている。

中国から九州鍋島藩を経て堺に手織緞通の技術が伝えられたのは江戸時代の中頃。天保2年(1831)に、真田紐を製造販売していた糸物商・藤本庄左衛門が、堺で初めて緞通を製造販売しました。明治10年(1877)に、庄左衛門の孫である荘太郎が第1回内国勲業博覧会に堺緞通を出品して全国的に有名になりました。一時は堺および泉州一帯の地場産業として栄え、明治中期には大阪府を代表する輸出品に成長しました。羊毛を素材とした手織の技法は熟練を要し、その製品は耐用性が強く、重厚さがあります。

現在は、新素材の開発、自動化、コンピュータ化により、多様なニーズにあわせて多種多様な製品が生まれています。

堺式手織緞通技術保存協会

TEL.072-235-5396

- じばしん2階展示場には織機が5台設置しており、毎週月曜日13~16時に開催される緞通講習会では基本織りの体験参加をすることができます(入場・体験とも無料)。



詳細は、お問い合わせください。

お立ち寄り下さい

(財)堺市産業振興センター

(じばしん南大阪)

お立ち寄り下さい

堺市北区長曾根町183-5
TEL.072-255-0111 FAX.072-255-5200

<http://www.jibashin.or.jp>

休館日/第2・4水曜日

交通/南海高野線 中百舌鳥駅、泉北高速鉄道 中百舌鳥駅、
地下鉄御堂筋線 なかもず駅徒歩約5分

堺市及び南大阪地域の地場産業・中小企業の振興を図る拠点となる施設です。地場産業製品の展示・販売もしています。



自転車



堺の自転車は、 鉄砲鍛冶たちの知識と 経験から発展していった。

日本に初めて自転車が入ってきたのは、慶応年間(19世紀)のこと。そのうち、明治3年(1870)頃から徐々に輸入されはじめ、時間制による自転車の貸し出し、自転車の国産化により明治32年(1899)頃には大いに自転車が普及することになりました。

当時の自転車はブレーキもなく、故障や転倒が続出し、修理が必要になりました。それに対応できたのが、修理に必要な技術をもつ鉄砲鍛冶だったのです。やがて欧米の進んだ機械技術も取り入れ、部品製造から完成品の組み立てを行うまでになり、堺の自転車産業は大きく発展しました。

堺自転車会館

18

堺市堺区九間町西1丁目29号 TEL.072-232-0089 FAX.072-232-0085

鉄砲鍛冶たちの知識と経験から発展した堺の自転車。その歴史の紹介とともにニューモデルや変わり種自転車等バラエティ豊かに展示しています。



製造工程のビデオを貸し出ししています。詳しくはお問い合わせ下さい。

- 展示/関係部品、ニューモデル、パネル等
- 実演/ナシ
- 体験/ナシ
- 料金/入場無料
- 販売/ナシ
- 休業日/土曜・日曜・祝日(年末年始・暑中休暇)
- 予約/団体(10名以上)は1週間前が必要
- 交通/高野線 堺東駅より南海バス 神明町下車すぐ、阪堺線 神明町電停下車すぐ

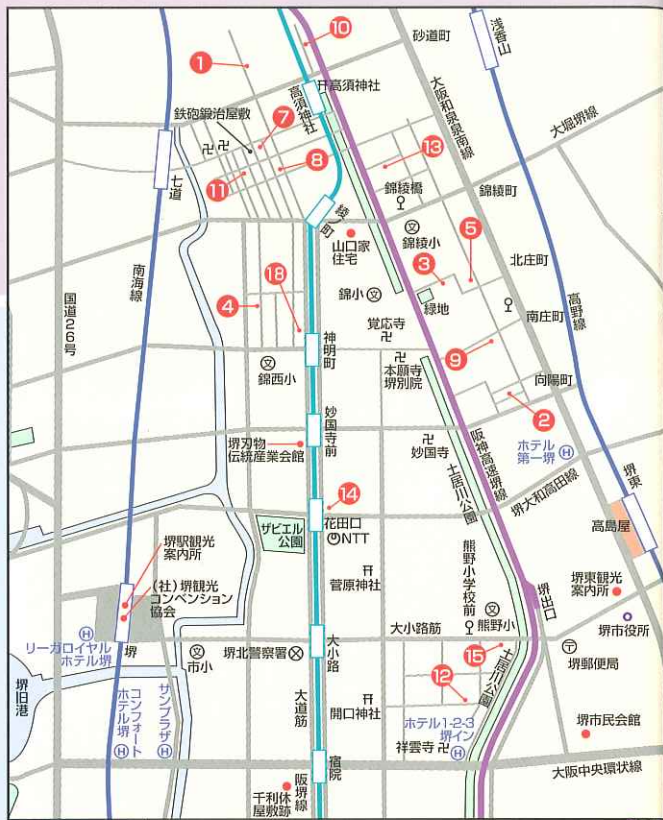
自転車博物館 サイクルセンター

お立ち寄り下さい

200年前のクラシック自転車から
カッコいいマウンテンバイクまで…
日本で唯一の自転車博物館!!



- 堺市堺区大仙中町18番2
- 電話 072-243-3196
- FAX 072-244-4119
- ホームページアドレス <http://www.h4.dion.ne.jp/~bikemuse>
- 開館時間 10:00~16:30(入館は16:00まで)
- 閉館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始
- 入館料 大人300円・中高生200円・3歳~小学生、65歳以上の方100円(団体割引あり)



堺市全域マップ



役立つ・お得な
情報がいっぱい!

堺の観光情報発信基地
(社)堺観光コンベンション協会



1500年のロマンを秘める百舌鳥古墳群、栄華を極めた中世の自由都市・堺には見所がいっぱいあります。観光コンベンション協会では、観光のご案内を行っています。観光ポイント・ルートなど何でもお気軽にご相談ください。

●お問合せ先
堺市堺区戎島町3丁22番の1(南海本線堺駅ビル1階)
TEL.072-233-5258 FAX.072-233-8448

ACCESS GUIDE



交通アクセス

JRによるアクセス

新大阪から約35分
 大阪から約30分
 天王寺から約10分
 神戸から約50分
 奈良から約40分
 和歌山から約50分

南海線によるアクセス

なんばから約10分
 和歌山から約45分

高野線によるアクセス

なんばから約15分
 橋本から約35分

関西国際空港からのアクセス

JRで約35分
 南海線で約35分
 空港バスで約60分(泉ヶ丘発着)

堺市市長公室観光部

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号
 TEL.072-228-7493 FAX.072-228-7900

●デザイン・レイアウト/株式会社アクティ
 ●印刷・製本/株式会社ケーエスアイ



堺市行政資料番号
 (1-G4-05-0306)